

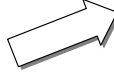
備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-04-02-11
事務事業名	合併調整事業	根拠法令・要綱等	消防組織法
事業開始年度	平成17年度から	問合せ先	総務課
大項目	基本目標 安全で快適に暮らせるまちづくり	担当課(室)	総務課
中項目	基本施策 安全で安心して暮らせるまちづくり	職・氏名	消防防災係長 大西武志
小項目	施策 消防・防災	電話	64-1809

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	消防団
目的(何のために)	合併による新消防団の整備を図る。
行政活動(どのような方法で)	合併による新消防団の整備を図るため、活動服や旧日生町及び旧吉永町の消防器庫及び消防車両の名称を統一する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	消防団の統一に必要な事業の進捗力

事業の実績					
	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
活動実績	分団旗の作成	本	8	-	-
	活動服	着	-	1,154	-
	消防車両等名称統一	千円	-	1,170	-
	消防用乙種衣(法被)	着	-	-	470
	防災行政無線施設施設設計業務	千円	-	-	5,145
	直接事業費		403	14,100	9,266
	人件費	千円	780	1,410	500
	事業費計		1,183	15,510	9,766
	国県支出金		403	14,098	
	受益者負担	千円			
市一般財源		780	1,412	9,766	
必要人員	人	0.10	0.22	0.06	
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	分団旗	説明			
	結果指標量	本	8	-	-
	対前年比	%	-	-	-
	活動コスト	円	1,183,000	-	-
単位当たりコスト	円	147,875	-	-	
結果指標	活動服	説明			
	結果指標量	着	-	1,154	-
	対前年比	%	-	-	-
	活動コスト	円	-	14,223,000	-
	単位当たりコスト	円	-	12,325	-

事業の成果			
成果指標名	消防団の統一事業の進捗力	式又は説明	法被、分団旗、活動服、消防車両及び消防器庫の名称変更の5項目の事業を行うことにより消防団の統一を図る。
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	1/5	3/5	1/5
対前年比		300.00%	33.33%
到達目標値	5/5	到達目標年度	平成19年度



事業の目的、対象、内容を考えてから目的の妥当性の評価を行って下さい。



事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。



事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価<A-E> B
	対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	課題認識
	行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	合併に伴う、新消防団の整備を図るためのものであることから妥当である。
	事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	
市の関与	市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	効率性評価<A-E> C
	コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	課題認識
	手続	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	活動服、消防車両、消防器庫の名称の統一を行うにあたって、単価の引き下げの努力はしている。
職	職	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	有効性評価<A-E>
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	有効性の評価は困難である。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	
	市民参画度		

平成20年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了	
目標値	結果指標量	結果指標量
	成果指標量	

総合評価		評価区分<A-E> B	
新消防団としての整備が、19年度で完了			

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 平成20年度で真正・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果